



つながれ KENPOKU

令和7年12月 5日 発行

今回は、福島市における地域学校協働本部事業の取組について、評価検証委員会の実施及び放課後子ども教室の取組についてお伝えします。

福島市地域学校協働本部事業の取組

11月18日 会場：立子山小学校

【 評価検証委員会 】

【地域の実情に応じた効果的な支援のために】



福島市教育委員会では、「地域学校協働本部事業」の実施にあたり、学校支援活動・地域学校共同活動及び、放課後子ども教室を行っています。また、その実践を評価検証することにより、地域の実情に応じた効果的な事業にするため、評価検証委員会を設置しています。

今年度の中間報告では、各小中学校で行われている学校支援の報告及び視察が行われました。活動事例報告では、除草作業や茶道体験、家庭科（裁縫・ミシン補助）やあいさつ運動など、多岐にわたる教育活動に学校支援ボランティアの支援の様子が報告されました。視察では、立子山小学校内で行われている放課後子ども教室「たっこ放課後クラブ」を参観し、その後、情報交換が行われました。

【放課後子ども教室】 （たっこ放課後クラブ）

【地域で子どもを見守り育てる取組の実践】



「たっこ放課後クラブ」は、保護者が自主的に見守り拠点として運営してきましたが、今年度から福島市主催の放課後子ども教室として運営されています。登録人数は10名で、全校児童が参加しています。

参観時は、勤労感謝の日に保護者に渡す感謝の絵手紙を作成していました。児童は、思い思いの方法で感謝の気持ちを表現していました。

出来栄をインタビューすると、「一番頑張ったところは、ありがとうをいっぱい書けた。」「シールをいっぱい貼って頑張った。楽しかった。」と楽しそうに答えてくれました。児童に寄り添いながら、頑張ったことを賞賛する支援員の関わりと、地域で見守る放課後の居場所を参観することができました。